

北海道における先天性副腎過形成症の追跡体制について  
(分担研究：スクリーニングの情報管理に関する研究)

藤枝 憲二

要約：先天性副腎過形成症の新生児マス・スクリーニングは北海道においては政令都市である札幌市とそれ以外の地域（以下北海道という）の2つの行政単位で実施され、また追跡体制も各行政単位で構築されている。札幌市においては精査、治療、追跡機関として北海道大学がそれを担い、札幌市衛生研究所と連携して行っている。一方札幌市を除いた北海道は守備範囲が広いこともあり、先天性代謝異常等連絡協議会が組織され追跡調査が運営されている。精査、治療の連絡役は北海道大学医学部小児科が受けもち、これを介して三医育機関およびそれらと密な連絡関係にある各地域の基幹病院で精査、治療をうけるシステムが構築され、先天性副腎過形成調査表が精査医療機関に送られ、その報告は先天性代謝異常等連絡協議会が管理している。先天代謝異常等連絡協議会は行政、検査機関、精査機関（北海道大学、札幌医大、旭川医大）で構成され毎年一回、開催されている。

見出し語：先天性副腎過形成症、マススクリーニング、追跡体制

研究方法：マススクリーニング事業は、検査事業、精査及び追跡体制が円滑に運営されて始めて意義あるものになる。北海道では、政令都市である札幌市とそれ以外の地域（以下北海道という）二つの行政単位から成り立っているが、それぞれにおいて治療、追跡体制が確立されている。今回その追跡体制の紹介と、発見された患者の動向について報告する。

研究結果及び考察

札幌市：

追跡体制：札幌市においては精査、治療、追跡機関として北海道大学がそれを担い、札幌市及び札幌市衛生研究所と連携して行っている。

患者動向：1982年度より行政レベルで開始されたスクリーニングにより過去12年間に227,925人の新生児





## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:先天性副腎過形成症の新生児マス・スクリーニングは北海道においては政令都市である札幌市とそれ以外の地域(以下北海道という)の2つの行政単位で実施され、また追跡体制も各行政単位で構築されている。札幌市においては精査、治療、追跡機関として北海道大学がそれを担い、札幌市衛生研究所と連携して行っている。一方札幌市を除いた北海道は守備範囲が広いこともあり、先天性代謝異常等連絡協議会が組織され追跡調査が運営されている。精査、治療の連絡役は北海道大学医学部小児科が受けもち、これを介して三医育機関およびそれらと密な連絡関係にある各地域の基幹病院で精査、治療を受けるシステムが構築され、先天性副腎過形成調査表が精査医療機関に送られ、その報告は先天性代謝異常等連絡協議会が管理している。先天代謝異常等連絡協議会は行政、検査機関、精査機関(北海道大学、札幌医大、旭川医大)で構成され毎年一回、開催されている。